

交付申請書（屋根軽量化工事費補助・シェルター型工事費補助）

様式第1号（第5条関係）

受付窓口へ提出する日付を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住宅耐震化促進事業補助金交付申請書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れず記入

(申請者) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

(上記代理人) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

(連絡先の電話番号 0797-000-0000)

(連絡先のFAX番号 0797-000-0000)

本人申請の場合記入なし。

どちらか記入

収支予算書等との整合

芦屋市住宅耐震化促進事業(屋根軽量化工事費補助又はシェルター型工事費補助)を下記のとおり実施したいので、補助金 500,000 円を交付願いたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の内容及び経費区分 (別記収支予算書)

2 事業の着手予定年月日

令和〇〇年□□月□□日

事業の完了予定年月日

令和〇〇年△△月△△日

3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

工事業者との契約予定日を記入  
※交付申請日より後の日付  
※契約は交付決定日以降に行う必要があります

工事代金の  
支払予定日を記入

別 記

収 支 予 算 書

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	500,000円	
自己資金	1,000,000円	
計	1,500,000円	

収入及び支出の合計欄と建替工事費補助は、補助対象工事費をご記入下さい。

2 支出の部

科目	予算額	摘要
『シェルター型工事費』又は『屋根軽量化工事費』のどちらか記入。	1,500,000円	全体見積額 2,500,000円
計	1,500,000円	

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。 補助対象外工事も含めた額
- 2 補助金は、見込み額を記入する。
- 3 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。
- 4 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

様式第耐震部分1号

どちらかに○

所得証明書で収入が一定額以下、兵庫県民かどうかを確認します\*2

### 耐震改修工事住宅概要書（個表）

(シェルター型工事費補助・屋根軽量化工事費補助)

住宅の名称	芦屋 太郎 邸		
住宅の所在地（地番）	兵庫県芦屋市精道町○番○号		1 住所と同一 2 住所と別
住宅の所有者	氏名	芦屋 太郎	
	住所	兵庫県芦屋市精道町7番6号 Tel0797-000-0000	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	(株)精道工務店	
	担当者氏名	精道 二郎	Tel0797-000-0000
建築確認年月日	昭和51年 5月23日	第 1234号	・ 不明
検査済証	昭和51年10月29日	第 6789号	・ 不明
建築年月	昭和51年10月頃竣工		
規模 <small>改修前：上段( )書き 改修後：下段</small>	地上 ( 2 ) 階	地下 ( - ) 階	塔屋 ( - ) 階
	2	-	-
	建築面積 (81.15) m <sup>2</sup>	延べ面積 (110.00) m <sup>2</sup>	
	81.15	110.00	
設備要件	1 居室 2 台所 3 トイレ 4 出入口		
店舗等併用住宅 の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積	45.00 m <sup>2</sup>	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合
			40.9%
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ( )		
備考			

証明書と整合させてください\*1

すべて備えていない場合は補助対象外です

添付書類

1 補助金算定・精算書（様式第耐震部分2号）

#### ※1 所有者、建築年月の確認について

登記簿謄本の写し、固定資産税台帳登録証明、建築確認通知書又は検査済証の写し等で確認を行います。

(2) 住宅の固定資産税台帳登録証明（建築年月が記載されたもの）

#### ※2 申請者の収入、兵庫県民の確認について

市役所・町役場が発行する、直近年度の所得証明書で確認を行います。なお、収入については、「総所得金額」欄の金額で判断します。

（収入要件：所有者の所得が1,200万円（給与収入のみの者は給与収入が1,395万円）以下）

(2) 配置図

(3) 平面図、立面図（耐震改修前後）

(4) その他耐震改修工事内容が確認できる図書

6 改修工事に係る建築確認済証の写し（改修工事（増改築含む）に建築確認が必要な場合のみ）

“算定”を○で囲み、  
“精算”を二重線で消す

令和〇〇年〇〇月〇〇日

補助金 **算定**・~~精算書~~

住宅改修業者登録制度の登録番号を  
ご記入ください。

事業者グループ登録を受けた事業者に  
よる申請の場合の記載例：

事業者グループ登録番号 R5-000

協力事業者グループ名称 〇〇〇

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号

所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道工務店

代表者名 精道 二郎

下記のとおり **見積り**・~~精算~~ 致します。

どちらかに○

( ~~シェルター型工事費補助、屋根軽量化工事費補助~~ )

住宅の所有者	芦屋 太郎
住宅の所在地	兵庫県芦屋市精道町7番6号
総工事費 (c)=(a)+(b)	2,500,000円
補助対象工事費 (a)	1,500,000円
その他工事費 (b)	1,000,000円

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

### 耐震工事業計画書

芦屋 太郎 様

補助金交付申請者名を記入

施工者 住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号

所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道工務店

代表者名 精道 二郎

芦屋 太郎 様の所有されている住宅の耐震改修工事  
ですので報告します。

住宅改修業者登録制度の登録番号を  
ご記入ください。  
事業者グループ登録を受けた事業者に  
よる申請の場合の記載例：  
事業者グループ登録番号 R5-000  
協力事業者グループ名称 〇〇〇

記

1 住宅の名称	芦屋 太郎
	所在地 兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号
2 耐震改修の概要	<p>(補強方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェルター型工事</li> <li>■ 非常に重い屋根を重い屋根又は軽い屋根に軽量化する工事</li> </ul> <p>(補強内容)</p> <p>〇〇〇△△△×××</p>
3 改修前の診断 結果(総合評点)	<p>改修前 <span style="float: right;">0.7 点</span></p> <p><small>(屋根軽量化工事費補助の補助対象は、評点が0.7以上と診断されたものに限る)</small></p>
4 備考	

どちらかにチェック

- ※ 改修前の住宅の診断結果について次のいずれかを添付してください。
- 平成12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果
  - 新たに現況住宅の一般診断を行った場合は、当該耐震診断計算書

## 耐震改修工事実績公表同意書

芦屋市長 様

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号

所在地 (〒〇〇〇-〇〇〇〇)

兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道工務店

代表者名 精道 二郎

工事実施業者（様式第耐震部分2号に記入した業者）が記入してください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：  
事業者グループ登録番号 R5-000  
協力事業者グループ名称 〇〇〇

事の実績を公表することについて、同意します。

記

1 業者について

住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先（TEL）、実施件数

2 工事内容について

住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所（市名のみ）、補助種別、建て方、構造、築年数、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷（改修後評点－改修前評点）

様式第7号（第11条関係）

受付窓口へ提出する日付を記入

令和〇〇年▽▽月▽▽日

## 住宅耐震化促進事業実績報告書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れずに記入

(申請者) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

(上記代理人) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

(連絡先の電話番号 0797-0000-0000)

(連絡先のFAX番号 0797-0000-0000)

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年××月××日付け×××第1234号をもって交付決定のあった、芦屋市住宅耐震化促進事業に係る工事を下記のとおり実施したので、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第11条の規定により、その実績を報告します。

交付申請書に記載した日付を記入

記

- 1 事業の内容及び経費区分 (別記収支決算書)
- 2 事業の着手年月日 (令和〇〇年□□月□□日)  
令和〇〇年◎◎月◎◎日  
事業の完了年月日 (令和〇〇年△△月△△日)  
令和〇〇年##月##日

実際の契約日(契約書の日付)、代金支払日(領収書の日付)を記入  
契約日は交付決定日以降の日

- 3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

別 記

注意！決算書です

収 支 決 算 書

1 収入の部

科目	予算額	摘要
(補助金)	(500,000円)	
補助金	500,000円	
(自己資金)	(1,000,000円)	
自己資金	1,000,000円	
( )	( )	
( )	( )	
計	(1,500,000円) 1,500,000円	

収入及び支出の合計欄と耐震改修工事費は、補助対象工事費を記入

2 支出の部

科目	予算額	摘要
(『シェルター型工事費』又は『屋根軽量化工事費』のどちらか記入。)	(1,500,000円)	全体見積額
『シェルター型工事費』又は『屋根軽量化工事費』のどちらか記入。	1,500,000円	2,500,000円
( )	( )	
( )	( )	
( )	( )	
計	(1,500,000円) 1,500,000円	

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。  
 2 申請内容を上段に ( ) 書き、  
 3 支出の部の摘要欄には補助対象外  
 4 業者からのキャッシュバックや対象外となる。

合計金額は、契約書・領収書記載の金額と同じになります。  
 ※契約書と領収書の金額は同じである必要があります。

ること。  
 は補助



“精算”を○で囲み、  
“算定”を二重線で消す

領収書の日付より前

令和〇〇年〇〇月〇〇日

### 補助金 算定・**精算書**

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇号

所在地 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

会社名 (株)精道工務店

代表者名 精道 二郎

住宅改修業者登録制度の登録番号を  
ご記入ください。

事業者グループ登録を受けた事業者に  
よる申請の場合の記載例：

事業者グループ登録番号 R5-000

協力事業者グループ名称 〇〇〇

下記のとおり ~~見積り~~ **精算** 致します。

どちらかに○

(~~シェルター型工事費補助、屋根軽量化工事費補助~~)

住宅の所有者	芦屋 太郎
住宅の所在地	兵庫県芦屋市精道町 7 番 6 号
総工事費 (c)=(a)+(b)	2,500,000円
補助対象工事費 (a)	1,500,000円
その他工事費 (b)	1,000,000円

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年〇〇月〇〇日

### 耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、令和〇〇年〇〇月〇〇日付け芦都建第〇〇〇〇号の住宅耐震改修補助金交付決定通知書のとおり実施しており、住宅耐震改修補助金交付申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、住宅耐震改修補助金交付決定通知書第6項に規定する耐震改修工事状況写真を添えて報告します。

確認者氏名 精道 二郎

(一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇〇 号

建築士事務所名 (株)精道工務店

(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第〇〇〇〇〇号

#### □ 耐震改修工事状況写真

1	建築物の名称	芦屋 太郎 様邸
	所在地	〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町〇〇番△△号
2	工事写真撮影箇所図*	
(別紙のとおり)		

#### ※ 工事写真撮影箇所図について

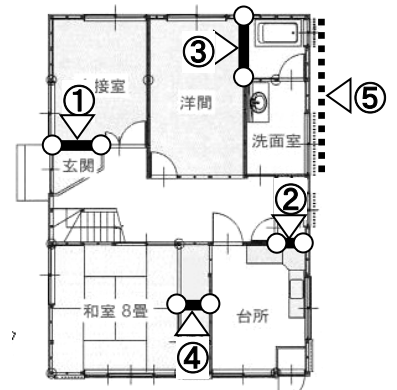
- (1) 右図の例にならって撮影箇所を 図示してください (別紙可)。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等をして適宜補強方法を付記してください。
- (3) 次頁以降の工事写真には、工事写真撮影箇所図の補強箇所番号を明示してください。

#### ※補強内容

- ①構造用合板による壁補強
- ②構造用合板による壁補強
- ③筋交い(たすき掛け)による壁補強
- ④筋交い(片筋交い)、構造用合板による壁補強
- ⑤基礎補修(エポキシ樹脂)

※△は施工方向を表す

※○は接合部補強を行う箇所を表す



#### ※ 工事写真について

- (1) 工事写真は次頁様式を参考に、原則として施工箇所全数の施工前・施工中・施工後の写真を添付してください。

写真 No. 1 工事箇所 No. ①

工事内容 (構造用合板等補強：改修前)

写真 No. 2 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱頭左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 3 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱頭右)

写真 No. 4 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱脚左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 5 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱脚右)

写真 No. 6 工事箇所 No. ①

工事内容 (構造用合板補強：受材設置)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

※ この用紙をコピーの上、お使いください。

(第 2 面／○○面)

※その他工事として屋根工事、室内完成工事、外観完成工事など各工程で写真を添付してください。(上記撮影箇所はあくまで記入例ですので、可能な限り撮影してください。) 工事写真の撮り忘れ等により必要な書類を提出できなかったり、交付決定時の工事計画と実際の工事が異なる場合等は補助金の交付が受けられない場合があります。

### 耐震改修工事実績公表内容報告書

芦屋市長 様

工事実施業者（様式第耐震部分2号に記入した業者）が記入してください。

事業者グループ登録を受けた事業者による申請の場合の記載例：  
事業者グループ登録番号 R5-000

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇〇号  
所在地 (〒〇〇〇-〇〇〇〇)  
兵庫県芦屋市精道町〇番〇号  
会社名 (株)精道工務店  
代表者名 精道 二郎  
連絡先 (TEL) 0797-〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり、本工事の実績について、報告し  
記

ここに記載した内容及び業者情報が公表されますので、記入に当っては誤記等のないようにご注意ください。

①	工事場所(市名のみ)	芦屋市
②	補助種別	<input type="checkbox"/> 耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 簡易耐震改修工事費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事費補助
③	建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 <input type="checkbox"/> マンション
④	構造	木造
⑤	築年数	昭和 51 年 10 月
⑥	階数	地上 2 階 地下 - 階
⑦	戸数	1 戸
⑧	延べ面積 (㎡)	110.00 ㎡
⑨	改修前評点	0.36
⑩	改修後評点	
⑪	補助対象経費 (円)	1, 5 0 0, 0 0 0 円
⑫	工事内容	<input type="checkbox"/> 基礎、柱、はり、耐力壁等の補強工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事 <input type="checkbox"/> 耐震改修以外の工事(補助対象経費に含んでいる場合のみ)
⑬	延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※	円

屋根軽量化工事費補助の場合は記入の必要はありません。

※補助対象経費(⑪)÷延べ面積(⑧)÷(改修後評点(⑩)－改修前評点(⑨))

## 住宅耐震化促進事業補助金請求書

金 500,000 円也

記入しないこと。

ただし、芦屋市住宅耐震化促進事業補助金

<根拠> 補助金交付決定通知 [ 令和 第 年 月 日 号 ]  
補助金交付決定変更通知 [ 令和 第 年 月 日 号 ]  
補助金確定通知 [ 令和 第 年 月 日 号 ]

上記のとおり、補助金を精算（概算）払いによって交付されたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第15条第1項（第2項）の規定により、請求します。

年 月 日

記入しないこと。

芦屋市長 宛

(〒659-8501)

住 所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏 名 芦 屋 太 郎



振 込 先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	〇〇支店
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	預金種類	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄
フリガナ	アシヤ タロウ		
口座名義（漢字）	芦屋 太郎		